

令和 2 年度
燕市教育行政評価結果報告書



燕市教育委員会



目 次

I. はじめに

1. 点検・評価の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
2. 教育行政評価委員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
3. 点検・評価の実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

II. 教育委員会の事業一覧

1. 令和2年度に実施した主要事業一覧・・・・・・・・・・・・ 3

III. 点検・評価の結果

【令和2年度評価対象事業】

1. 「ICT教育推進事業」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
2. 「新潟大学教育学部とのパートナーシップ事業」・・・・ 18
3. 「学校不適應・ひきこもり相談事業」・・・・・・・・・・・・ 20
4. 「私立認可保育所経費」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
5. 「子どもの居場所運営事業」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
6. 「子育てアプリ事業」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
7. 「中央公民館事業」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
8. 「自主事業」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29
9. 「横山操生誕100周年記念展覧会事業」・・・・・・・・・・・・ 31

【第2次燕市学校教育基本計画】

10. 「第2次燕市学校教育基本計画」・・・・・・・・・・・・ 33

IV. 教育委員会の会議及び教育委員の主な活動状況

1. 教育委員会の会議・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35
2. 総合教育会議・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40
3. 教育委員の視察・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40
4. 教育関係会議への出席・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40

I. はじめに

1. 点検・評価の目的

燕市教育委員会では、市民に信頼される公正で透明、簡素で効率的な教育行政の実現を図るため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 26 条の規定に基づき、毎年、主要な施策及び事務事業の取組状況について点検評価を行い、課題を明らかにし、今後の方向性を示しています。

【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

【燕市教育大綱に掲げる基本方針及び施策】

基本方針 1 地域に根ざした教育の推進・子育て支援

施策 1 知・徳・体を育成する教育の推進

施策 2 安心して産み育てられる子育て支援

基本方針 2 市民が主役の健康づくり・生きがいづくり

施策 1 健全な心と体を支えるスポーツの推進

施策 2 心豊かな生涯学習・文化活動の充実

2. 教育行政評価委員

(敬称略)

氏 名	役 職 等
委員長 永 井 宏	元燕市立燕北中学校長
副委員長 小 林 理恵子	元燕市総合計画審議会委員
委 員 大 橋 和 明	元燕市立燕西小学校 PTA 会長

3. 点検・評価の実施状況

令和2年度に実施した全ての予算事業とその上位目標である施策の中から、9事業について教育行政評価委員から選定していただき、評価を行っていただきました。

また、第2次燕市学校教育基本計画についても点検及び評価を行っていただきました。

開 催 日	出 席 者	委 員 会 内 容
令和3年 6月25日(金)	委員3名、教育次長、学校教育課長、子育て支援課長、社会教育課長及び事務局職員11名	<ul style="list-style-type: none"> ・事業評価作業 ・第2次燕市学校教育基本計画の評価作業
令和3年 7月29日(木)	委員3名、教育次長、教育委員会主幹、学校教育課長、子育て支援課長、社会教育課長及び事務局職員11名	<ul style="list-style-type: none"> ・報告書取りまとめ

Ⅱ. 教育委員会の事業一覧

1. 令和2年度に実施した主要事業一覧

学校教育課

No.	主要事業名	事業の概要
1	Jack & Betty プロジェクト	外国語指導助手（ALT）2人と日本人英語指導助手（JTE）6人を配置し、幼稚園・保育園・こども園から小中学校まで、一貫した外国語教育を行いました。 また、Jack & Betty教室に加え、英語スピーチコンテスト、English Winter Campを引き続き実施し、英語力の向上に努めました。一方で、感染症の影響により、English Summer Camp、親善大使海外派遣事業及び夏休み英会話教室を中止することとなり、令和元年度比で9,688千円の減となりました。
2	特別支援学校就学援助事業	当市在住の盲・聾・特別支援学校の児童生徒の保護者に対して、経済的負担を軽減するため、就学に必要な経費について援助を行いました。 県立月ヶ岡特別支援学校に通学する児童・生徒を対象に、保健・福祉施設障がい者地域生活支援センター（はばたき）から学校までの送迎を行いました。
3	奨学金貸付事業	教育の機会均等と人材育成を図るため、修学の意欲があり、経済的理由により就学が困難な学生または生徒に対して奨学金の貸与を行いました。なお、感染症の影響により家計が急変した学生などを支援するため貸与型就学援助金制度（一人10万円、無利子）を新設したことなどにより令和元年度比で13,968千円の増となりました。 ・奨学金貸付金 147人 65,520千円 ・就学援助金貸付金 50人 5,000千円
4	学校教育管理費	教職員用パソコンの配置や校務支援システムの運用等により、教職員の多忙化解消を進め、教育の質の向上を図りました。
5	地域に根ざす学校応援団事業	学校・家庭・地域が一体となって、子どもたちの健やかな成長や地域全体の教育力向上を目的として、地域コーディネーターとの連携により、学校支援ボランティアによる「地域に作られた学校の応援団」として地域住民の参加を推進しました。 加えて、地域ボランティアの活用による「放課後等の学習支援活動」にも取り組み、児童生徒の学力向上を図りました。 【補助学校数及び補助額】 20校 4,010千円
6	ICT教育推進事業	これまで燕市で整備を進めてきた普通教室の電子黒板やタブレット端末等のICT機器の活用及びICT支援員の配置に加え、新たに、国のGIGAスクール構想に基づき、1人1台の情報端末の整備やGIGAスクールサポーターの配置等を実施しました。 なお、GIGAスクール構想関連の環境整備により、令和元年度比で333,115千円の増となっています。
7	燕ジュニア検定事業	児童を対象に、地域の歴史や文化等を楽しく勉強してもらい、ふるさとへの誇りと愛着をもってもらうため、「燕ジュニア検定問題集（平成30年度改訂）」を活用し、各小中学校で、燕長善タイム等の時間を利用した学習を行いました。また、令和2年度のジュニア検定は、市内小学生2,707人が受検しました。
8	子ども夢づくり事業	子ども夢基金を活用し、小・中学生が全国スポーツ大会に出場の際、遠征費の補助を行いました。また、令和2年度は感染症の影響により全国スポーツ大会の中止が多かったため、令和元年度比で、58人の減、補助額は1,708千円の減となりました。 【補助件数及び補助額】 ・中学生 8人 297千円

No.	主要事業名	事業の概要
9	長善館学習塾事業	当初、市内の小学6年生を対象に、ふるさと燕市を愛し、様々な分野において活躍する次世代の人材を育成するため、社会性や生きる力を育むことを目的とした南魚沼での宿泊体験や市内事業所での職場体験の実施を予定していました。 しかし、感染症拡大の状況を鑑み、市内の小学5, 6年生を対象に、ドローンを操縦して撮影した映像を編集し、燕市をPRするビデオを制作する活動に内容を変更し実施しました。
10	広島平和記念式典派遣事業	非核平和宣言推進事業の一環として、国際的な視野をもって命の尊厳や平和の尊さについて、理解できる生徒を育成するため、市内の中学生を広島平和記念式典に派遣していましたが、感染症拡大の状況を鑑み、派遣を行わないこととしました。なお、千羽鶴の作成およびDVD鑑賞による平和学習を各中学校で行うことで代替としたことにより令和元年度比で543千円減となりました。
11	笑顔で入学支援事業	全小学校15校において入学予定児童の保護者を対象に、入学に対する不安解消や心構えなど、入学を円滑にする支援のため、リーフレットを配布しました。 なお、感染症拡大の状況に鑑み、新入学予定児童の保護者を対象とした講演会を中止したため令和元年度比98千円の減となりました。
12	燕キャプテンミーティング	市内中学校の部活動リーダーを育成し、資質の向上を図るため、12月5日、12日の2日間で、講演会や実技指導を行いました。延べ126人の中学1・2年生が参加しました。
13	学校図書館充実事業	計画的に図書を購入し、児童生徒の読書活動の推進や学習環境を整備しています。また、学校図書館管理システムを活用して蔵書管理・蔵書充実・読書活動推進を行うとともに、学校図書館司書業務嘱託員を配置し各学校図書館の運営をサポートしました。
14	羽ばたけつばくろ応援事業	若者の主体的な活動を応援し、燕市の将来を担う人材を育成することを目的に、夢の実現や社会参画に対する支援を行いました。 【補助件数及び補助額】 団体：3件 588千円
15	つばめキッズファーム事業	市内の小学校15校を対象に、子どもたちが農業の収穫の喜びを体験し、子どもたちを取り巻く農業や食の環境を学ぶとともに、自分の住んでいる地域を知るための農業体験について、補助金を交付しました。
16	Good Job つばめ推進事業	生徒がふるさとへの愛着や誇りを持ち、自分の将来を設計し、自立して生きていく力を育むため、3日間の職場体験と、各1日のキャリア講演会及びマナー講習会の実施を計画していました。しかし、感染症拡大を受け、職場体験を中止し、代わりにキャリア講演会を1日増やす対応をとったため、令和元年度比1,960千円の減となりました。
17	高校とともに創る輝く人材育成事業	「燕市内の県立高校の特色化に関する提案書」に基づき、吉田高校と分水高校の特色ある学校づくりを支援することにより、燕市の将来を担う人材の育成に努めました。
18	入学準備金貸付事業	高校や専修学校、大学等への入学に際し、経済的理由により就学が困難な者の保護者等に対し、必要となる資金の一部を入学準備金として貸し付け、教育の機会均等を図りました。
19	燕ロボット・プログラミング教室事業	小型自律動作ロボットを用いた「つばくろロボキッズ教室（全5回コース）」を実施し、小学校5～6年生13名が参加しました。また、未経験者を対象とした入門教室（全2回コース）や学校への教材の貸出を行うなど、小学生を対象としたプログラミング学習に取り組みました。参加した児童は、小型自律動作ロボットを想定した動きに制御できるようになるなど、プログラミング学習に興味や関心を持って学ぶことができました。

No.	主要事業名	事業の概要
20	つばくろいきいきスポーツクラブ事業	部活動以外にも体力や技術の向上を目指したい等の生徒・保護者や指導者のニーズに対応するため、運動部活動を補完するクラブを令和元年度から設置し、引き続き活動しています。令和2年度は、陸上、野球、水泳、バスケットボール、バレーボールの5つのクラブを設置しました。
21	中学3年生応援事業 (フェニックス600)	一斉臨時休業等により、義務教育最終年に、通常の部活動等ができなかった市内中学3年生約600人の生徒の激励のため、各分野の一流講師陣から直接指導を受ける場面を設ける等、貴重な体験を通して、子供たちの夢に向かって歩もうとする気持ちを高め、今後の人生において夢や希望が持てるような貴重な体験の場を提供しました。 【実施内容】 ・部活動交流会 ・ピクトリークリニック・フェニックス600 ・YumeCon 夢コンサート ・夢講演会 ・ハートフル演劇鑑賞会 ・フェニックス600記念プレートの贈呈
22	実習生応援PCR検査費用助成事業	燕市在住または燕市出身の学生で、教育免許や保育士資格等の取得のため、市内または近郊の教育・保育施設や医療施設、社会福祉施設などで実習を行う学生を対象に、PCR検査にかかる費用の一部を助成しました。 【補助件数及び補助額】 57人 846千円
23	ICT教育推進事業 [明許繰越]	国のGIGAスクール構想に基づき、市内小中学校における校内LAN環境の高速化(CAT6A)、全ての普通教室にWi-Fi環境の整備及び1人1台情報端末用充電キャビネットの設置を実施しました。
24	学習支援充実事業	小・中学校に学習支援員14人を配置し、各学校においてきめ細かな学習指導、特別活動及び生活指導等を行うことにより児童生徒の健全育成を推進しました。 なお、会計年度任用職員制度移行に伴う期末手当の増などにより令和元年度比で2,581千円の増となりました。
25	小中学校教職員研修事業	教職員としての資質(授業力、生徒指導力、学級経営力等)の向上を図るため、教職員を対象に各種研修を実施しました。 なお、県外視察や県外から講師を招聘しての研修は中止したため、令和元年度比で539千円の減となりました。
26	新潟大学教育学部との パートナーシップ事業	教育学部の教授(准教授)による、最新の学術理論にもとづいた授業実践を市内の小中学校で展開するとともに、市内各校へ研修内容を広め、児童・生徒に言葉の力を育成するための教職員の指導力向上を図りました。 なお、感染症の影響により8月までの研修会が中止となったこと等により令和元年度比241千円の減となりました。
27	学校不適應・ひきこもり相談事業	悩みを抱えた小学生から39歳までの子どもや若者、その保護者からの不登校をはじめとした様々な相談に、電話、面談、訪問、メールで対応し、解決に向けた支援を行いました。
28	スクールソーシャルワーカー派遣事業	児童生徒が抱えている様々な問題に対し、スクールソーシャルワーカーを派遣し、家庭や関係機関、教職員等に対し支援を行い、問題の解決を図りました。
29	適応指導教室事業	学校に行くことができない児童生徒のため、市内3カ所に適応指導教室を設置し、個人の状況に合わせた学習や自主活動を行い、学校生活への復帰を支援しました。

No.	主要事業名	事業の概要
30	別室登校支援事業	学校に登校できても教室に入れない生徒を対象に、各中学校に学習支援を目的とする別室登校支援員を配置し、生徒の学習やクラスへの復帰を支援しました。 なお、別室登校支援員（1名）が出産により育児休暇等を取得し、その代替職員（1名）を新たに雇用したことに伴う人件費として、令和元年度比で1,226千円の増となりました。
31	心の教室相談員派遣事業	各中学校に心の教室相談員を派遣し、悩みのある生徒に対する心のケアを行いました。
32	言語・発達障がい通級指導教室運営費	発達の特性に応じて子どもが積極的に学校生活を営むことができるよう、言語通級教室（燕西小・吉田小）・発達障がい通級教室（吉田南小）で専門的な指導を行いました。 なお、令和3年度から「分水小学校ことばの教室」を開設するため、備品等の購入を行ったことにより、令和元年度比で940千円の増となりました。
33	教育センター運営費	教育関係職員等の研修などを実施する教育センター施設の管理運営を行いました。
34	視聴覚ライブラリー運営費	DVD、ビデオ等の教材や機材の貸出により、映像を取り入れた教育に関する支援を行いました。
35	子どもを育む推進事業	中学校区単位で絆スクール集会を実施し、いじめ見逃しゼロに対する意識の高揚を図りました。 全中学校5校を対象に3年毎に実施する朗読劇「家族草子」の鑑賞会を実施したことから、令和元年度比で3,937千円の増となりました。
36	科学教育推進事業	燕・弥彦科学教育センターと連携し、理数教育を中心とした研修体制を充実・強化することで児童生徒、教師や市民の科学に対する意識向上を図りました。
37	遠距離通学支援事業	遠距離通学児童に対してスクールバスの運行を行うとともに、スクールバスを運行していない地区については、助成金を交付することで、保護者負担の軽減と通学の支援を図りました。
38	松長小学校の今後の在り方検討事業	松長地区の児童数が減少し、令和5年度以降は2つの学年で1学級を編制する複式学級が見込まれる状況を踏まえ、松長地区の子どもたちのより良い教育環境の実現に向けて、「松長小学校の今後の在り方検討会」を設立し、松長小学校の今後の在り方について、地域の代表者や保護者等による検討会を4回開催しました。 また、検討委員による複式学級で存続した学校と統合した学校の2校への学校視察を実施し、検討会での意見集約の参考としました。
39	教育振興費	経済的な理由により就学困難な児童の保護者及び、小学校の特別支援学級に在籍している児童の保護者等に対し、小学校でかかる費用の一部を助成しました。 また、見学や体験などを行うことを目的として、外部施設等に出かけて学習するための支援を行いました。 就学援助・特別支援教育就学奨励費に関して、国の補助金交付要綱改正に伴い支給単価が増額したこと等の理由から、令和元年度比で4,495千円の増となりました。
40	理科教育等設備整備事業	子どもたちに科学的な知識や技能を習得させるとともに、工夫創造の能力を養うため、国の補助金を活用し理科教育備品を購入しました。
41	小学校整備事業	大関小学校特別支援教室冷暖房設備設置及び2階女子トイレ改修工事（3,446千円）や小中川小学校特別支援教室冷暖房設備設置工事（2,090千円）など、各小学校施設の整備・修繕を行いました。なお、大関小学校借地の購入（17,663千円）等により令和元年度比19,496千円の増となりました。

学校教育課

(続き)

No.	主要事業名	事業の概要
42	小中川小学校消火設備及び屋内運動場照明改修事業	経年劣化が進んでいた消火設備や配管、火災報知設備等を更新しました。また、屋内運動場照明のLED化を行いました。
43	粟生津小学校屋外運動場改修事業	経年による水はけ不良等を改善し児童が安心してグラウンドを使うことができるよう、改良工事を行いました。
44	小学校感染症対策施設改修等事業	粟生津小学校・吉田北小学校・分水北小学校・島上小学校のランチルームに冷暖房設備を設置しました。
45	小学校施設環境整備事業	各小学校の水栓をハンドルからレバーに交換しました。また、主に低学年や特別支援児童を対象に、自動水栓及び温水設備を設置しました（水栓レバー交換及び温水設備設置15施設）。
46	小中川小学校屋内運動場外装等改修事業	経年劣化が進んでいる屋内運動場の外壁や屋根、建具等の改修工事の設計を実施しました。
47	小学校整備事業[明許繰越]	経年劣化が進んでいた燕北小学校特別教室棟東面の外壁改修を行いました。
48	遠距離通学支援事業	遠距離通学児童に対してスクールバスの運行を行うとともに、スクールバスを運行していない地区については、助成金を交付することで、保護者負担の軽減と通学の支援を図りました。
49	学校管理費[明許繰越]	感染症対策のため延期となった中学校の修学旅行について、保護者の修学旅行費用の負担を軽減するため、キャンセル料相当額を補助しました。（令和元年度分修学旅行2校、2,288千円）
50	教育振興費	経済的な理由により就学困難な児童の保護者及び、小学校の特別支援学級に在籍している児童の保護者等に対し、小学校でかかる費用の一部を助成しました。 また、見学や体験などを行うことを目的として、外部施設等に出かけて学習するための支援を行いました。 就学援助・特別支援教育就学奨励費に関して、国の補助金交付要綱改正に伴い支給単価が増額したこと等の理由から、令和元年度比で4,495千円の増となりました。
51	理科教育等設備整備事業	子どもたちに科学的な知識や技能を習得させるとともに、工夫創造の能力を養うため、国の補助金を活用し理科教育備品を購入しました。
52	部活動外部人材活用事業	市内中学校の運動部活動に専門的な技術指導力を有する指導者を外部人材活用事業として6人を派遣し、運動部活動の振興と地域社会との連携を促進しました。
53	中学校整備事業	燕北中学校コンピュータ室冷暖房設備改修工事（3,960千円）や分水中学校特別教室棟高架水槽防食防水工事（1,300千円）など、各中学校施設の整備・修繕を行いました。
54	分水中学校屋外運動場改修事業	経年による水はけ不良等を改善し生徒が安心してグラウンドを使うことができるよう、改良工事を行いました。
55	中学校施設環境整備事業	各中学校の水栓をハンドルからレバーに交換しました（水栓レバー交換5施設）。
56	中学校整備事業[明許繰越]	燕中学校屋外運動場の北東側に防砂ネットを設置しました。

学校教育課

(続き)

No.	主要事業名	事業の概要
57	学校衛生管理費	児童、生徒及び教職員の健康保持のために、各種健康診断や学校環境衛生検査を実施するなど、保健衛生面から教育環境の整備、充実を図りました。 なお、感染症対策のための衛生用品購入等により令和元年度比3,031千円の増となりました。
58	学校再開に伴う感染症対策・学習保障事業	市内小中学校において感染症対策を徹底しながら十分な教育活動を継続し、児童生徒の学びの保障をするための各種物品（保健衛生用品の追加購入、校舎消毒に必要な物品、三密を避けて分散活動をする際に不足する物品等）を購入しました。
59	給食センター管理運営費	市内小中学校の児童生徒に対して、東部学校給食センター（燕地区）及び西部学校給食センター（吉田地区・分水地区）で調理した学校給食を提供しました。 なお、落雷により故障した空調設備修繕（2,051千円）、センターピット内の蒸気漏れに係る配管の修繕（2,596千円）や感染症対策に係る臨時休校の影響で必要となった経費（6,900千円）等により令和元年度比で19,605千円の増となりました。

子育て支援課

No.	主要事業名	事業の概要
60	児童福祉総務費	令和2年度から令和6年度までの5年間を計画期間とする第2期燕市子ども・子育て支援事業計画の進捗管理を行うための、燕市子ども・子育て会議を開催しました。 なお、幼児教育・保育の無償化に伴う業務増に対応するための臨時職員2人の雇用終了や、燕市子ども・子育て支援事業計画策定業務委託の完了等により、令和元年度比で4,098千円の減となりました。
61	保育園運営費	次の時代を担う子どもたちが健やかに育つよう、市立保育園16カ所（令和3年3月31日現在、園児数1,416人）と市立認定こども園2カ所（令和3年3月31日現在、園児数226人）で保育を実施しました。 会計年度任用職員制度移行等により、令和元年度比で55,606千円の増となりました。
62	保育園整備事業	あおい保育園の冷暖房、消防設備の改修工事や小池保育園の排煙窓等改修工事を行ったほか、水道町保育園の手洗い場改修工事など、保育環境改善工事を実施しました。
63	私立認可保育所経費	市内の私立保育園5カ所（令和3年3月31日現在、4カ所、園児数338人）の委託料及び、地域型保育所3カ所（令和3年3月31日現在、園児数49人）の施設型給付費を負担しました。 また、子ども・子育て支援交付金や新潟県特別保育事業補助金、保育対策総合支援事業費補助金の等の活用により、私立保育園5カ所及び地域型保育所3カ所へ補助金を交付しました。 令和2年度10月に保育園から認定こども園に移行した園があったこと等により令和元年度比で12,262千円の減となりました。
64	保育所広域入所委託事業	家庭の事情により、市内の保育園等への通園が困難な児童について、市外の保育園へ保育を委託しました。また、保育園ではなく地域型保育所を利用した場合には子ども・子育て支援教育・保育給付費を負担しました。

No.	主要事業名	事業の概要
65	私立認定こども園経費	市内の私立認定こども園3カ所（令和3年3月31日現在、園児数603人）の施設型給付費及び市外の私立認定こども園6カ所（令和3年3月31日現在、園児数11人）の施設型給付費を負担しました。 また、子ども・子育て支援交付金や新潟県特別保育事業補助金、保育対策総合支援事業費補助金の等の活用により、私立認定こども園3カ所へ補助金を交付しました。 令和2年度10月に認定こども園に移行した園があったこと等により、令和元年度比で106,053千円の増となりました。
66	粟生津保育園大規模改修事業	粟生津保育園の、内外装、衛生設備、電気設備、給排水設備等の改修工事を行いました。
67	未満児保育拡充事業	0歳児の新規受入れのため、燕こども園の施設改修を行うとともに、備品等を購入しました。
68	つぼみ保育園民営化事業	つぼみ保育園の民営化に向け、運営主体となる法人を公平かつ適正に選定するための、保育園整備事業者選定委員会を開催しました。
69	分水小学校区における新たな保育園整備事業 [明許線越]	分水パステル保育園の運営事業者に対し、園舎等整備のため、燕市児童福祉施設整備事業補助金（90,830千円）及び保育所等整備交付金（302,394千円）を交付しました。 令和元年度は10%程度、令和2年度は90%程度を事業の進捗に応じて、支出したため、令和元年度比で349,533千円の増となりました。
70	児童館運営事業	遊びを通して児童の健全育成を図り、情操を豊かにするための施設として、また、親子のふれあい交流の場として、7カ所の児童館の運営を行いました（来館者数：50,236人）。 なお、会計年度任用職員制度移行等により、令和元年度比で10,923千円の増となりました。
71	児童研修館運営事業	子どもたちの豊かな感性を育む場として、また、親子のふれあい交流の場として、こどもの森の運営を行いました。（来館者数：5,862人）。
72	児童クラブ運営事業	就労等により、昼間保護者が家にいない小学生に遊びと生活の場を提供し、児童の健全育成と保護者支援を行いました（公立児童クラブ：16カ所、登録児童数738人（令和3年3月31日時点））。 なお、会計年度任用職員制度移行等により、令和元年度比で22,535千円の増となりました。
73	子どもの居場所運営事業	B & G財団の助成金を活用し、児童クラブの機能をもつ新たな子どもの居場所を開設し、児童の健全育成と保護者支援を行いました（登録児童数16人（令和3年3月31日時点））。
74	なかまの会の児童クラブ化推進事業	燕南小学校区での児童クラブ新設に向け、既存学校施設を改修するための設計を行いました。
75	なかまの会管理運営費	児童クラブが設置されていない小学校区において、放課後の子どもの居場所づくりを目的として、5カ所のなかまの会の運営を行いました（登録児童数456人：延べ30,167人）。 なお、会計年度任用職員制度移行等により、令和元年度比で3,250千円の増となりました。

No.	主要事業名	事業の概要
76	地域子育て支援事業	子育て家庭の育児相談や子育て情報の提供及び子育ての輪を広げるための事業を市内8カ所の子育て支援センターで実施しました。 また、「すこやか赤ちゃん誕生祝い金事業（平成24年申請受付終了）」で、中学校入学者等に子育て支援金を支給しました。 なお、会計年度任用職員制度移行等により、令和元年度比で3,305千円の増となりました。
77	ファミリー・サポート・センター運営事業	安心して子育てや仕事を行うために育児サポートを行うファミリー・サポート・センター事業を実施しました。
78	病児・病後児保育事業	病気や病後で通園または通学ができず、家庭での療養も困難な子どもを、病児保育室「あおぞら」（たかだ小児科医院併設）で一時的に預かり、保護者の就労と子育ての両立を支援しました（事前登録者数：1,768人、利用者数：157人）。 感染症の影響により利用者数が大幅に減少したことから、事業者に運営経費の助成を行ったことにより令和元年度比で3,989千円の増となりました。
79	地域子育て支援講座事業	赤ちゃんを初めて育てているママのための仲間づくり・親子の絆づくりのプログラムや、同年代の子どもを持つ母親同士が子育ての不安や悩みを話し合い、自分に合った子育てを考えることを目的とするプログラムを実施しました。
80	子育てつばめメール配信事業	子育て支援の一環として、携帯電話やスマートフォン等のメールアドレスを登録した会員に相談窓口や支援制度、イベントなどの子育てに関する情報を配信しました（子育てつばめメール登録件数：1,182人、「燕市子育てアプリはぐはぐ」への移行に伴い令和2年7月末で配信終了）。
81	療育支援事業	発達障害など特別な配慮を要する子どもの支援体制推進のために、会計年度任用職員を2名配置し、相談業務、園訪問、各種研修等を実施しました。（相談対応 延べ2,090件、連絡調整 延べ1,496件、園訪問 93回、実務者研修 2回 延参加数 75人、保護者支援講座3回 延参加数 12人） なお、令和元年度まで社会福祉課要保護児童対策事業で計上していた家庭児童相談嘱託相談員1名分を、活動実績を踏まえ令和2年度から子育て支援課へ事業移管とともに、本事業で計上したため2,971千円の増額となりました。
82	子育てのための施設等利用給付事業	幼児教育・保育の無償化に伴い、幼稚園・認定こども園の在園児が預かり保育事業を利用した場合や、幼稚園・保育園・認定こども園に在園していない子どもを持つ保護者が一時預かり事業等を利用した場合に、その利用料相当額を支給しました（41件）。
83	育児家庭応援事業	子育て世帯の経済的負担を軽減するため、乳幼児のいる世帯を対象に、おむつ用ごみ袋を支給しました（令和2年度実績：0歳児 467人）
84	子育てアプリ事業	予防接種などのお知らせ情報発信機能や子どもの成長記録、妊婦の健康管理機能などを備えたスマートフォン向けのアプリ「燕市子育てアプリはぐはぐ」を導入し、子育て世帯向けの情報を発信しました（登録者数1,004人）。
85	つばめ子育て応援カード事業	令和3年度からの事業実施に向け、対象者に“つばめ子育て応援カード”を発行するとともに、協賛企業を確保するための広報活動を行いました（カード発行者数9,210人、協賛企業43社）。
86	感染症対応負担軽減事業	保護者の就労をサポートするために子どもを預かる保育園や児童クラブ等職員の感染症感染拡大防止のための消毒作業等に係る負担を軽減するため、人員体制の充実を図りました。

子育て支援課

(続き)

87	保育施設等環境整備事業	感染症感染拡大防止のため、保育園等に換気のための網戸を設置したほか、児童が適切に手洗いでできるよう、水栓蛇口をレバー式に変更するとともに、温水設備を整備しました（網戸設置12施設、水栓レバー交換及び温水設備設置33施設）。
88	感染症対策生活支援事業	感染症感染拡大防止のため、小中学校や保育園等が休校・休園の間、入院加療中及び保健所の助言に基づく健康観察期間中の外出が困難な世帯に対し、配食サービスを斡旋したほか、ネットスーパー等利用に係る配送料及び弁当等購入費の補助を行いました（配食サービス25世帯、ネットスーパー等22世帯）。
89	幼稚園運営費	市立幼稚園1カ所（令和3年3月31日現在、園児数15人）で幼児教育を実施しました。 燕北幼稚園の閉園等により令和元年度比で3,664千円の減となりました。
90	幼稚園総務費	市立幼稚園1カ所の維持管理を実施しました。また、市外の私立幼稚園へ区域外就園した児童のための施設型給付費を負担しました。 燕北幼稚園の閉園等により令和元年度比で4,716千円の減となりました。

社会教育課

No.	主要事業名	事業の概要
91	勤労青少年ホーム（夢中館）管理運営費	勤労青少年ホーム（夢中館）の管理運営を行いました。
92	生涯学習推進費	第2次燕市生涯学習推進計画（平成28年度～令和4年度）の進捗管理について協議するため、燕市生涯学習推進協議会（1回）を開催しました。 また、生涯学習人材バンクの登録・活用の促進を図るとともに、生涯学習情報の提供に努めました。
93	社会教育総務費	社会教育行政にかかる社会教育委員の会議（2回、うち1回は書面）を開催しました。また、県内社会教育委員との情報交換・研究協議に係る研究集会に参加しました。 感染症の影響により、研修会の回数が減少したことなどから、令和元年度比で159千円の減となりました。
94	成人式事業費[明許繰越]	感染症の影響により延期していた令和元年度の成人式を令和2年11月28日に文化会館、吉田産業会館、分水公民館の3会場に分散して開催しました。 また、自主的に参加を控えた新成人のために会場の模様を動画配信するとともに、欠席者を含む対象者全員に記念品を贈呈しました。 令和元年度は成人式を開催しなかったため、令和元年度比で2,377千円とほぼ皆増となりました。 なお、令和3年3月21日に予定していた令和2年度の成人式は令和3年11月20日に延期して開催します。
95	中央公民館管理運営費	中央公民館の管理運営を行いました。 感染症拡大防止対策に伴う臨時休館による光熱水費の減などにより、令和元年度比で1,398千円の減となりました。
96	地区公民館管理運営費	吉田公民館・分水公民館の管理運営を行いました。 感染症拡大防止対策に伴う臨時休館による光熱水費の減などにより、令和元年度比で933千円の減となりました。

社会教育課

(続き)

No.	主 要 事 業 名	事業の概要
97	中央公民館事業	青少年や成人、高齢者などの幅広い年齢層を対象に市民教養講座、つばめ目耕塾、子ども体験講座、風の子くらぶなどの講座を開催しました。
98	地区公民館事業	各地区公民館で利用団体の育成と発表の場として、文化祭・芸能発表会を行うとともに、成人や青少年を対象とした講座を行いました。 感染症の影響により、芸能発表会など事業の多くが中止となったため、令和元年度比で407千円の減となりました。
99	分館管理運営費	中央公民館の5分館の管理運営を行いました。また、中央公民館の3分館、吉田公民館の2分館の指定管理業務委託を行いました。
100	分館事業	中央公民館の5分館において、各種教室や文化祭などの地域に密着した事業を行いました。 感染症の影響により、文化祭など事業の多くが中止となったため、令和元年度比で458千円の減となりました。
101	市民交流センター管理運営費	燕市民交流センターの管理運営を行いました。
102	図書館管理運営費	市内3図書館の指定管理業務委託を行いました。 また、図書館協議会（2回のうち1回は書面）を開催し、「第1次燕市子ども読書活動推進計画」の総括や図書館運営について協議しました。 令和元年度に燕図書館の受水槽の更新等を完了したことから、令和元年度比で4,429千円の減となりました。
103	吉田図書館改修事業	吉田図書館の空調設備の更新、トイレの洋式化及び屋上防水などの改修工事を行いました。 令和元年度に設計を行い、令和2年度は工事を行ったため、令和元年度比で131,798千円の増となりました。
104	電子図書館導入事業	図書館に行かなくても図書を借りられる電子図書館サービスを新たに導入しました。
105	青少年育成センター事業	街頭補導活動など青少年健全育成のための事業を行いました。 また、若者就労支援事業を三条地域若者サポートステーションに委託し、燕市内での出張相談、職場見学、ジョブトレーニング、各種セミナーなどを行いました。 感染症の影響により、青少年育成協議会の事業の一部が中止となったため令和元年度比で270千円の減となりました。
106	文化会館管理運営費	文化会館の管理運営を行いました。また、文化会館運営審議会（1回）を開催し、文化会館の自主事業や利用状況等について協議しました。 文化会館の空調機械室や倉庫等のスチールドアの修繕工事を行ったことなどにより、令和元年度比で1,857千円の増となりました。
107	自主事業	文化会館の自主事業として、スリーハンサムズコンサート、つばめ音楽文化祭（邦・洋楽、ロック&フォークフェスタ）を開催しました。 感染症の影響により、自主事業のうち4事業が中止となったため、令和元年度比で11,971千円の減となりました。
108	吉田ふれあいセンター管理運営費	吉田ふれあいセンターの管理運営を行いました。 感染症拡大防止対策に伴う臨時休館による光熱水費の減などにより、令和元年度比で657千円の減となりました。

No.	主 要 事 業 名	事業の概要
109	分水良寛史料館管理運営費	分水良寛史料館の管理運営を行いました。
110	分水良寛史料館展示事業	良寛遺墨や良寛ゆかりの人物の作品、資料の常設展示のほか、年3回の企画展を開催しました。 感染症の影響により、春の特別展が中止となったことなどから、令和元年度比で342千円の減となりました。
111	長善館史料館管理運営費	長善館史料館の管理運営を行いました。 長善館の功績を伝えるための資料の常設展示のほか、年3回の企画展を開催しました。 また、引き続き、筑波大学と連携し、長善館歴代館主の日記の解読と製本のほか、解説を付した書籍「日記で読む長善館」を刊行しました。 書籍の刊行などにより、令和元年度比で783千円の増となりました。
112	文化財保護事業	文化財収蔵庫の維持管理を行うとともに、市指定文化財保護のための環境整備等を行いました。 令和元年度は水道の塔の躯体調査や外壁剥落防止のためのネット設置工事等を行ったため、令和元年度比で4,830千円の減となりました。
113	埋蔵文化財事業	市内遺跡の発掘調査や各種工事の立ち会いなど埋蔵文化財の保護を行いました。 また、遺跡出土品展を開催して、埋蔵文化財の公開活用に努めました。 稲葉遺跡の本発掘調査の実施などにより、令和元年度比で60,474千円の増となりました。
114	文化振興事業	文化団体（文化協会、郷土史研究会連合会）に対する活動支援、燕市美術展覧会、良寛書道展の開催、「郷土史燕」、「文芸つばめ」を刊行しました。 令和元年度は全国良寛会燕大会の開催に係る補助金の交付があったことなどにより、令和元年度比で711千円の減となりました。
115	横山操生誕100周年記念展覧会事業	燕市の名誉市民であり、戦後日本を代表する日本画家である横山操氏の生誕100周年を記念し、産業史料館において記念展を開催しました。(12/4～1/11)
116	体育振興費	燕市スポーツ協会と燕市スポーツ少年団の活動を支援するとともに、スポーツ推進委員との連携により、地域スポーツの振興に努めました。 感染症の影響により、全国大会等への出場激励金の交付が減少したことなどから、令和元年度比で1,030千円の減となりました。
117	生涯スポーツ振興費	健康づくり教室や各種スポーツ大会を開催し、市民の健康づくりや競技力の向上に努めました。 感染症の影響により、燕さくらマラソン大会をはじめ、各種大会等が中止となったため、令和元年度比で15,192千円の減となりました。
118	東京ヤクルトスワローズカップ少年野球交流事業	東京ヤクルトスワローズと縁の深い4都市（燕市、松山市、浦添市、西都市）の交流事業として、第8回東京ヤクルトスワローズカップ少年野球交流大会を沖縄県浦添市で開催する予定でしたが、感染症の影響により中止となりました。 なお、燕市代表チームの選手には、直筆サインボールなどスワローズにちなんだ記念品を贈呈しました。 沖縄県浦添市での本選が中止となったため、令和元年度比で2,412千円の減となりました。

社会教育課

(続き)

No.	主 要 事 業 名	事業の概要
119	ホストタウン推進事業	市民のオリンピック・パラリンピックへの関心を高めるため、パラアスリートによる講演会や講習会を開催しました。 感染症の影響により、モンゴル国パラアーチェリー選手団の事前合宿が中止となったことなどにより、令和元年度比で1,371千円の減となりました。
120	スポーツ拠点化推進事業	スポーツによる地域の活性化を図るため、地域おこし協力隊を採用し、各種スポーツ教室や大会等のPRを行いました。 地域おこし協力隊の新規採用により、令和元年度比で3,628千円の増となりました。
121	体育施設管理運営費	燕市体育センターほか24体育施設の指定管理業務委託を行いました。また、燕北多目的武道場、分水プールの施設管理を行いました。 感染症の影響により減収となった指定管理委託料の増額などにより、令和元年度比で17,809千円の増となりました。
122	三条・燕総合グラウンド施設組合管理運営費	三条・燕総合グラウンドの管理運営を三条市と共同で行いました。 職員の退職手当の支給などにより、令和元年度比で6,128千円の増となりました。
123	吉田野球場等ナイター照明改修事業	吉田第2野球場、吉田テニスコートのナイター照明のLED化改修工事を行いました。 令和元年度に設計を行い、令和2年度は工事を行ったため、令和元年度比で101,436千円の増となりました。
124	分水総合体育館改修事業	分水総合体育館の内外装及びアリーナ天井の耐震化等の改修工事の設計を行いました。
125	スポーツパークテニスコート改修事業	スポーツパークの地盤改良や人工芝張替、ナイター照明のLED化等の改修工事の設計を行いました。
126	スポーツランド燕改修事業	スポーツランド燕野球場の防球ネット及びフェンスの改修工事を行いました。
127	燕市民武道館改修事業	燕市民武道館の冷暖房設備やトイレ洋式化等の改修工事の設計を行いました。
128	吉田トレーニングセンター（ビジョンよしだ）大規模改修事業	吉田トレーニングセンターの冷温水発生機の先行工事に伴う設計及びアスベスト含有量調査を行いました。
129	開放施設管理費	市内小中学校の体育館およびグラウンドの一般開放を行いました。 島上小学校グラウンドの防球ネット張替工事などにより、令和元年度比で2,497千円の増となりました。

Ⅲ. 点検・評価の結果

【令和 2 年度評価対象事業】

令和 2 年度 教育行政評価報告書

<知・徳・体を育成する教育の推進>

点検項目	ICT 教育推進事業
2 年度達成目標	<p>文部科学省が推進する GIGA スクール構想に基づき、児童生徒 1 人に 1 台の情報端末の配備や無線ネットワークの整備等、ICT を活用した教育の一層推進に向けた環境整備を実施する。</p> <p>また、1 人 1 台の端末を活用した授業や臨時休業中の実施を想定したオンライン授業などに対して、すべての教職員がストレスなく取り組めることを目指し、事前研修やフォローアップ等に取り組む。</p>
目標の達成状況	<p>令和 2 年 12 月までに、全小中学校で児童生徒 1 人に 1 台の情報端末の配備が完了し、令和 3 年 2 月には無線ネットワーク工事を終え、情報端末を授業等で使用できる環境を整備した。</p> <p>一方、教員への支援として、令和 2 年 11 月から GIGA スクールサポーターを配置し、全教職員、ICT 教育担当者、管理職それぞれを対象とした研修会を実施した他、訪問支援や児童生徒が最初に端末にログインする際のサポート等を行う等、今後の授業への活用に向けて支援を行った。</p>
取組の概要	<p>●研修会等の開催状況</p> <ul style="list-style-type: none">・6 月：市職員による教職員向け Google Workspace 研修（4 回）・11 月～1 月：GIGA スクールサポーターによる教職員向け活用研修（各校 1 回）・1 月：Google Kickstart Program 研修（全体 1 回）・2 月：ICT 教育担当者座談会（全体 1 回）・3 月：GIGA スクールサポーターによる管理職向け研修（全体 1 回） <p>●ICT 支援員等の配置状況</p> <ul style="list-style-type: none">・ICT 支援員（2 名） 燕市が雇用、常駐。・ベネッセ ICT サポーター（5 名） （株）ベネッセコーポレーションの ICT 支援員が各校月 2 回訪問。・GIGA スクールサポーター 国の補助金に基づき配置。研修等を実施。 ※令和 2 年度、3 年度限り

<p>取組の概要</p>	<p>●ICT 機器の整備状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報端末（Chromebook）：6,230 台（指導者端末、予備機含） ・遠隔授業用機器（Web カメラ、マイク）：各校 1 セット ・家庭学習用モバイル Wi-Fi ルーター（貸出用）：300 台 <p>《令和元年度までの整備状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板等の大型提示装置：279 台（普通教室に 1 台ずつ） ・書画カメラ：125 台（普通教室 3 教室に 1 台以上）
<p>自己評価</p>	<p>新型コロナウイルスの感染拡大から、国は小中学校のオンライン学習の実施に向けた環境を整備するため、GIGA スクール構想の実現を前倒しで取り組む意向を示した。</p> <p>本市では、情報端末や無線環境、Web カメラ等周辺機器の整備を年度内に完了し、加えて、GIGA スクールサポーターを新たに配置するなど、整備した ICT 機器の円滑導入に対する支援策を講じてきた。</p> <p>結果として、現在 75%以上の教員が週に 3 日以上 ICT 機器を活用した授業を実施していることが調査結果で判った。</p> <p>今後は、ICT 機器の活用頻度が目的ではなく、いかに子供たちの学習に効果的に活用することができるかを念頭に、研修や支援体制の継続を図っていきたい。</p>
<p>評価委員の評価</p>	<p>各学校に 1 人 1 台の情報端末が整備されたことで、児童生徒が生き生きと学習に取り組むことができ、容易にインターネットで調べ学習ができるといった声も聞かれる。反面、機器の操作でつまずいてしまう児童生徒が見受けられるとも聞いている。また、教える側の教員が面倒だから使わないといったような、使用段階での課題もある。</p> <p>今後は、授業での活用に対して、どのような場面で効果があったのか検証を進めるとともに、教員へのサポートや研修後のフォローアップをしっかりと行っていただきたい。</p>
<p>今後の方向性</p>	<p>ICT 機器を活用した教育を実践するための設備は整ったが、今後は、多様な子供たちを誰一人取り残すことのない個別最適化された学びや創造性を育む学びの環境整備が重要である。また、教員のスキルアップを図るため、研修内容や、授業改善のための ICT 機器の活用方法の検討が必要である。</p> <p>今後、ICT を使った授業の実践例をより多く集積するとともに、教員間の情報共有の促進や GIGA スクールサポーター等の支援体制の拡充を図り、1 人 1 台の情報端末の活用を推進する。</p>

今後の方向性	市教育委員会と学校が連携し、これまで積み重ねた教育実践と ICT のベストミックスを図ることで、教師・児童生徒の力を最大限に引き出し、主体的・対話的で深い学びの実現を目指す。
--------	---

【所管：学校教育課】

[用語解説]

GIGA スクール 構想	児童生徒向けの 1 人 1 台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、多様な子どもたちを誰一人取り残すことのなく、公正に個別最適化された創造性を育む教育を、全国の学校現場で持続的に実現させる構想。 GIGA：「Global and Innovation Gateway for All」の略
Google Workspace	Google 社が提供する、グループウェアとして利用可能な組織向けオンラインアプリケーションのセット。 「Google Workspace for Education」として、学校での指導の効率化、安全な学習環境の維持を目的にカスタマイズされたものが教育機関に対して無償提供されている。
Google Kickstart Program 研修	GIGA スクール構想の端末に Chromebook を導入した自治体に対して Google 社が無償で研修を実施するサービス。
Chromebook	Windows でも Mac、iPad でもない Google 社が開発した「Chrome OS」を搭載したノートパソコン。
GIGA スクール サポーター	急速な学校 ICT 化を進める自治体等を支援するため、学校における環境整備の初期対応を行う。ICT 関連企業の人材など、特に ICT 技術に知見を有する者。
モバイル Wi-Fi ルーター	インターネットに接続するために使う小型で軽量の通信端末。

<知・徳・体を育成する教育の推進>

点検項目	新潟大学教育学部とのパートナーシップ事業
2年度達成目標	<p>小中学校の「国語」及び「英語・外国語・外国語活動」において、最新の専門的理論を研究している指導者を、新潟大学教育学部から招聘し、年間を通して、授業づくりや指導計画作成などについて実践的な指導助言を受け、成果を市内の学校で共有することで、小学校・中学校国語科・英語科担当教職員の授業力を上げ、生徒の学力を向上させる。</p>
目標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・新潟大学パートナーシップ事業の実施校数(国語 3校 + 英語 9校) 目標：15校 実績：12校 ・学習アンケート結果 評価不能(R2は全国学力・学習状況調査が実施されなかったため) ・中学3年の学力偏差値(NRT検査、国語と英語の平均) 目標：52.0 実績：48.8
取組の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・国語では9月から新潟大学パートナーシップ事業の公開授業 小学校2校(8回)、中学校1校(1回)で行った。 ・英語・外国語では10月から新潟大学パートナーシップ事業の公開授業 小学校4校(4回)、中学校5校(8回)で行った。
自己評価	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により実質下半期しか活動できなかったが、新学習指導要領の趣旨を実現するため、指導者の助言・指導を受けながら多くの公開授業を行い、教員の授業力向上に資することができた。令和2年度のNRT結果が伴わなかったことを受け止め、各校の授業改善に向けて令和3年度はさらに充実した研修を行いたい。</p>
評価委員の評価	<p>この事業の研修の取組や目標は良いものだと評価している。結果が出るように続けていってほしい。</p> <p>研修に参加した先生から聞いた生の意見を、次年度に生かしていただきたい。</p> <p>「知・徳・体」の「知」だけでなく、「徳」の部分の力もつけられるとより良い。</p> <p>この研修と各学校の校内研修などの方向がそろってないと、効果があがらないと思うので、この研修の目標を他の取組みの方向とそろえて取り組んでいく必要があると思う。</p>

今後の方向性	<p>「読解力育成という視点を盛り込み、主体的・対話的で深い学びを実現する」という全市で取り組むべき目標を、この事業でも大切に、各校での学力向上にむけた授業改善が促進されるように支援する。</p> <p>研修でアンケートを行い、その内容を共有することで、研修の成果がより良くなるような取組みを行う。</p>
--------	---

【所管：学校教育課】

<知・徳・体を育成する教育の推進>

点検項目	学校不適応・ひきこもり相談事業
2年度達成目標	<p>学校に行けない、友達とうまくいかないなどの悩みを抱えた児童生徒や若者及びその保護者を対象に、相談窓口（燕スマイルサポートステーション）を開設する。</p> <p>特任指導主事やスクールソーシャルワーカー等による助言や訪問支援等を受けた児童生徒や若者が、将来、学校や社会に復帰し、地域の担い手として社会的に自立していくことを目的とする。</p>
目標の達成状況	<p>児童生徒に関する相談では、児童生徒の在籍校と連携し、適応指導教室やスクールソーシャルワーカーの活用により、学校や学級復帰を支援した。さらに、ひきこもり相談では、保護者への助言や家庭訪問などを行った。</p> <p>なお、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響による一斉臨時休業など、児童が通常と異なる環境で不安や孤独感を感じる事が懸念された。このことから市内全小学校内に臨時相談室を開設し、児童の気持ちに寄り添った心のケアを行った。</p>
取組の概要	<p>●相談業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・燕スマイルサポートステーション 相談件数（延べ）723件 内訳[電話303件／面接152件／訪問246件／その他22件] <p>●新型コロナウイルス感染症に係る対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨時相談室 市内小学校15校 延べ46回開室 相談件数40件
自己評価	<p>新型コロナウイルスの感染拡大から、家庭への訪問や対面による相談が制約される状況となり、加えて、突発的な学校の休業により、児童が不安を感じ、学校に行きにくくなる状況が懸念された。</p> <p>このことから学校教育課では、休業明けに市内全小学校に臨時相談員を派遣し、感染症への不安、学習や学校行事に関する不満や不安など、気軽に安心して話ができる機会を設け、児童の不安軽減を図ってきた。この取組が、コロナ禍にあっても、不登校児童数の増加を抑えることができた一つの要因になったものと捉えている。</p>

<p>評価委員の評価</p>	<p>相談窓口をしっかりと周知することが、まずは重要である。心のバリアーをとって、小さな声を拾っていけるようにしてほしい。また、将来、社会参加する契機として、オンラインを活用した方法等でも子供たちが自信を深められるような工夫をお願いしたい。</p> <p>コロナ禍での丁寧な対応はよかった。今後は、ICT 機器を使って適応指導教室からでも学校の様子が見られるようになるとよい。</p> <p>相談窓口はより広く、解決への手段は多様にあるとよい。</p>
<p>今後の方向性</p>	<p>コロナ禍による児童生徒の不安を軽減するよう、小学校での臨時相談室を継続し、早期発見、早期対応に努めている。</p> <p>また、令和3年度は、Zoom や Google Meet を活用したオンライン相談窓口を開設し、より相談しやすい体制の整備に取り組んでいる。</p> <p>加えて、適応指導教室の児童生徒へは、学校での授業にオンライン参加を促す等により、学校復帰や別室登校へのきっかけになるようアプローチの仕方を検討していく。</p>

【所管：学校教育課】

<安心して産み育てられる子育て支援>

点検項目	私立認可保育所経費
2年度達成目標	<p>子育て世帯の核家族化や共働き世帯の増加に伴い、0・1歳児の年度途中の入園希望に対し、受入れが困難なケースがある。就労形態の多様化や女性の就労時間の長時間化に対応するため、私立認可保育所が実施する保育の実施に対して適切な委託料や補助金の交付を行うことで、仕事と子育てを両立するための多様な保育サービスの充実を図る。</p>
目標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 0歳児・1歳児保育の拡大 <ul style="list-style-type: none"> ハッピー第五保育園の0歳児受入枠 8人(8人増) ハッピー第五保育園の1歳児受入枠 3人(3人増) ヤクルトつばめ保育園の0歳児受入枠 4人(4人増) ヤクルトつばめ保育園の1歳児受入枠 9人(9人増) ・ 待機児童数 0人 <p>年度途中の入園希望であっても、保育を必要とするすべての児童の保育を実施した。</p> ・ 早朝・延長保育を必要とするすべての児童を対象に実施 <p>保育士の確保に努め、保育時間の延長に対するニーズに応えた。</p>
取組の概要	<p>保育利用率(利用児童数/就学前児童数)が年々上昇しており、特に3歳未満児においてその傾向が顕著にみられる。1・2歳児の保育は全園実施しているものの、0歳児保育を実施している園の所在地で、旧燕地区は実施率(実施園数/全園数)が低いため、ハッピー第五保育園・ヤクルトつばめ保育園で0歳児の受入を開始した。また、育児休業期間の終了に伴う年度途中入園の希望が多い0歳、1歳児についても、受入枠を充実させた。</p> <p>早朝・延長保育事業に関しては、昨年度に引き続き、すべての保育園において実施し、保育時間の長時間化へのニーズへ対応した。</p>

<p>自己評価</p>	<p>核家族化が進行し、女性の社会進出が進む中、出生数は減少しているものの、保育ニーズは増加し多様化している。</p> <p>3歳未満児の受入れについても、0歳児・1歳児の受入れ枠を拡大することで待機児童数0人を維持した。</p> <p>また、早朝・延長保育等の通常保育以外の保育ニーズに対しても、保育サービスを充実させ、働くことと育てることの両立を支える施策を実施し、保護者支援を行った。</p>
<p>評価委員の評価</p>	<p>私立認可保育所への補助事業については、燕市の女性の社会進出の増加や、多様化する保育ニーズに合った事業である。</p> <p>育児休業からの復帰に伴う保育の要望は、もっと増えてくることが見込まれる。今後も待機児童数0人を維持してほしい。</p> <p>働き方も家族の形態も変化してきている中、多様なニーズに対応できる体制できるだけ整えることで、少子化対策につなげてほしい。</p>
<p>今後の方向性</p>	<p>育児休業期間終了後の子どもの受け入れ先として、私立認可保育所の0歳児・1歳児の受け入れ枠を確保するため、引き続き、私立認可保育所へ補助金を交付し、未満児保育ニーズに対応できるよう支援を行う。</p>

【所管：子育て支援課】

<安心して産み育てられる子育て支援>

点検項目	子どもの居場所運営事業
2年度達成目標	<p>B & G財団の助成金を活用し、吉田南小学校区内に子どもの新たな居場所を令和2年4月に開設する。</p> <p>子どもの新たな居場所を通じて、学習支援や社会体験の機会を子どもたちに提供する。</p>
目標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・開設日 令和2年4月1日 ・受入児童数 目標：20人　実績：16人 ・B&G海洋センターと連携したプログラム実施回数 目標：1回　実績：実施できず
取組の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・開設当初14人でスタートしたが、転入世帯等の児童の登録により、年度末には16人の登録となった。 ・b & g燕吉田南メートを含む市内子育て支援関連施設の職員20人が子育て支援員研修を受講し、「子育てコンシェルジュ」としてこれまで以上に相談者の立場にたった対応や、関係機関との連携強化を図る体制づくりを行った。
自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ●事業実施によって得られた成果 <ul style="list-style-type: none"> ・b & g燕吉田南メートの職員だけではなく市内児童館等の職員を含めた職員の拠点運営に対する理解や支援の輪の向上が見られた。 ・燕市全体での子育て相談対応力の向上、連携力の強化が図られた。 ●課題と対応策 <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学級在籍児童への対応に苦慮する場面が多かった。継続して勤務ができる職員をなかなか確保できなかったこと、特別な配慮が必要な児童対応の経験値が未熟な職員が多かったことが要因の一つと捉えている。令和3年度は、児童福祉分野に関する知識や勤務経験がある職員を配置し、質・人数ともに改善を図っている。

自己評価	<p>・新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた事業の中止が相次ぎ、子どもたちの体験活動の時間が十分に確保できなかった。令和3年度は、新型コロナウイルスの感染防止対策・代替案なども考慮した年間計画を立て、4月から新たな試みを実践している。また、体験活動等の実施にあたっては、他児童館職員や市職員などを活用することで、児童が多様な人材と接する機会を設け、社会性の育成につなげたい。</p>
評価委員の評価	<p>関係機関との連携を強化しながら、児童の支援をお願いしたい。また、保護者のフォローも継続する必要がある。</p> <p>事業を継続するためには、支援にあたる人材確保が欠かせない。手助けをしたいと思う人材の掘り起こしに努めてほしい。</p> <p>放課後の預かりは小学生までとなっているが、中学生になっても利用したいというニーズもある。今後の課題としてほしい。</p>
今後の方向性	<p>児童が、信頼できる大人や友達と安心して過ごすことができる場所を提供するとともに、関係機関と連携しながら、人や社会と関わる力の育成など、児童に必要な支援を行う。</p> <p>支援に必要な人材確保に努め、また、職員の対応力を高めていくための研修を継続することで、支援体制の充実を図る。</p> <p>0歳から18歳までの子どもの発達など、子育てに関する相談をお受けする「子どもサポート係」と連携しながら、子育て家庭が抱える課題を支援に繋げる。</p>

【所管：子育て支援課】

<安心して産み育てられる子育て支援>

点検項目	子育てアプリ事業
2年度達成目標	子育て世代向けのアプリを活用した情報発信を開始することで、子育て満足度の向上に寄与する。
目標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> • 子育てアプリ登録者数 目標：500人 実績：1,004人
取組の概要	<p>予防接種などのお知らせ情報発信機能、子どもの成長記録、妊婦の健康・体重管理機能を備えたスマートフォン向けのアプリを、令和2年6月1日より運用を開始し、毎日子育て支援情報を発信している。</p> <p>(これに伴い、子育てつばめ〜ルは令和2年7月で配信を終了)</p>
自己評価	<p>毎日の更新等や検診時でのPRにより、アプリの登録者数は目標に達した。今後も登録者が増加し続けられるように、利用者のニーズに合った情報発信を行う。</p>
評価委員の評価	<p>紙媒体での情報発信を減らす必要がある。子育て世代は、ほぼスマートフォンを使っているので、アプリでの発信をさらに充実させてほしい。</p> <p>アプリに登録している人が質問や意見を投稿し、それに市が回答するというような、双方向の情報発信ができる機能があるとよい。</p> <p>市外から転入してきた人たちの子育てに関する不安を取り除けるよう、必要な情報を発信できるとよい。</p> <p>燕市の良さをアプリで発信し、若者の定住につながれるとよい。</p>
今後の方向性	<p>子育てアプリによる情報発信の充実に努め、従来から使用している子育てガイドミニ（冊子）の発行部数の削減に努める。</p> <p>現状のシステムの仕組みでは、アプリから発信する情報がどの程度活用されているかを的確に確認できないことが課題である。アンケートの実施など、適宜、状況の把握に努め、情報発信ツールとしての有効性の向上に繋げる。</p>

【所管：子育て支援課】

＜心豊かな生涯学習・文化活動の充実＞

点検項目	中央公民館事業
2年度達成目標	それぞれのライフステージや分野のニーズに対応した学習機会等を提供するとともに講座や自主的な活動等の成果発表の場を設けることにより、市民の教養の向上並びに文化活動の発展等を図る。
目標の達成状況	新型コロナウイルス感染症の影響により中止している事業がある中、市民教養講座及びつばめ目耕塾において、参加者アンケートを実施した結果、参加者の満足度で、市民教養講座では77.0%、つばめ目耕塾では86.6%という結果を得ることができた。
取組の概要	<p>① 市民教養講座（実施11講座）</p> <p>② 子ども体験講座（実施1講座、中止4講座）</p> <p>③ 食育推進講座（らんらんランチ会）</p> <p>④ 燕大学（中止）</p> <p>⑤ つばめ目耕塾（実施9講座）</p> <p>⑥ 茶会（白藤茶会・国上良寛茶会・市民茶会）（中止）</p> <p>⑦ 中央公民館文化祭（10月31日・11月1日 延800人参加）</p> <p>⑧ 市民教養講座フェスティバル（3月6・7日 延560人参加）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種講座については、専門的知識を持った講師を招き、主に講義形式による講座運営を行った。 ・中央公民館文化祭、市民教養講座フェスティバルについては、活動団体や講座生が自ら会場レイアウト等を考えて、成果発表の場を作りあげた。
自己評価	<p>市民教養講座においては、新型コロナウイルスの感染防止対策を講じるため、開講日が1カ月程度遅れたが、年間予定を大きく変更することなく、年度末の成果発表の場である市民教養講座フェスティバルで作品展示や発表を行うことができた。</p> <p>つばめ目耕塾においては、日常生活等で役立つ知識や普段触れることができない機会を提供することができ、参加者の満足度も高いことから市民の教養の向上に寄与したと考える。</p>

<p>評価委員の評価</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で事業が中止になったのは残念であるが、市民教養講座などを楽しみにされている方がたくさんいると思うので、感染状況に応じて続けていただきたい。</p> <p>アンケートの満足度を見てもコロナ禍の中、普段以上に各種講座の開催を求められているため、継続していただきたい。</p> <p>各自治体もどのような事業を行うか頭を悩ませていると思う。今後とも充実した事業をお願いしたい。スマートフォンは多くの年代で使われるようになっており、公民館でもスマートフォン講座を計画してほしい。</p>
<p>今後の方向性</p>	<p>新型コロナウイルスの感染防止対策を十分に講じたうえで、質の高い講座を計画し開催する。市民のニーズも考え、「はじめてのスマホ教室」も7-8月に開催予定。(全4回)</p> <p>また、受講者の満足度だけでなく、社会的に身につけていただきたい講座や地域の偉人や歴史等を知る良寛関係の講座も引き続き実施する。(例：R2の目耕塾「キャッシュレス決裁の知識」、「お薬のはなし」など)</p>

【所管：社会教育課】

<心豊かな生涯学習・文化活動の充実>

点検項目	自主事業
2年度達成目標	市民のニーズにマッチした質の高い舞台芸術作品の鑑賞や、市民参加型の芸術・文化活動の場を市民に提供し、子どもから高齢者までの幅広い世代を対象に芸術文化への意識の向上を図る。
目標の達成状況	<p>中止の事業があるなか、「スリーハンサムズコンサート 2020～俺たちの放課後～」は 301 人、つばめ音楽祭（洋・邦楽部門）は 57 人、ロック&フォークフェスタは 107 人の来場者があった。</p> <p>それぞれ実施後の来場者アンケートでは「とてもよい」「よい」が 3 事業で平均して 77%となり、「コロナ禍でも、対策を講じて公演を実施してもらい、うれしく思う」という声が多くあった。</p> <p>[参考]自主事業の大ホールの来場者数 令和元年度 5,863 人 令和2年度 465 人</p>
取組の概要	<p>① 市内小学校合同演劇鑑賞会「シンドバットの大冒険」（中止） ② 「立川談春独演会 2020」（中止） ③ 「中村雅俊コンサートツアー2020 ON and ON Vol.4」（中止） ④ 劇団四季ファミリーミュージカル「人間になりたがった猫」(中止) ⑤ つばめ音楽祭（洋・邦楽部門） ⑥ つばめ音楽祭（ロック&フォークフェスタ） ⑦ 「スリーハンサムズコンサート 2020～俺たちの放課後～」</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、4事業の中止、その他3事業は入場者数制限をかけた実施となった。実施できた事業は、国・県・市のガイドラインに沿って公演時の入場者数を客席の50%に制限して実施した。</p>
自己評価	来場者アンケートの満足度が 77%と高い評価を受けていることから、新型コロナウイルスの感染防止対策として客席数を 50%としたものの、芸術・文化活動の発表の場並びに鑑賞できる場を提供できたことは、芸術文化への意識の向上に寄与できたものとする。

<p>評価委員の評価</p>	<p>燕市においては、市民が舞台芸術、文化を直接観たり聴いたりする機会が少ないので自主事業の開催はありがたい。コロナ禍が落ち着いても、以前と同様の公演は難しいと思うが、引き続き感染症対策を講じて、自主事業を開催していただきたい。</p> <p>文化会館のような施設での鑑賞は、子どもたちにとって刺激になる。コロナ禍のため県外アーティストによるコンサート等は中止となったものの、発表の場が少ない市内・県内で活動している団体等の発表の場を提供できたことはよかった。</p>
<p>今後の方向性</p>	<p>自主事業については、感染症対策を十分講じた上で、今後も引き続き優れた舞台芸術作品の提供や芸術・文化活動の場を市民に提供し、芸術文化活動の向上を図る。</p>

【所管：社会教育課】

<心豊かな生涯学習・文化活動の充実>

点検項目	横山操生誕 100 周年記念展覧会
2年度達成目標	<p>燕市の名誉市民であり、戦後日本を代表する日本画家・横山 操氏の生誕 100 年を記念して作品展を開催し、操氏を顕彰するとともに市民の芸術・文化振興を図る。</p>
目標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> • 記念展 ※燕市産業史料館企画展として実施 名称：横山操生誕 100 周年記念 「はじまりの物語。時代を見つめた眼差し。」 会期：令和 2 年 12 月 4 日(金)～令和 3 年 1 月 11 日(月・祝) 会場：燕市産業史料館（企画展示室） 来場者：1,220 人 • 記念講演会 日時：令和 2 年 12 月 6 日（日） 午後 2 時～3 時 会場：燕市産業史料館（多目的室） 講師：横山秀樹さん（前・新潟市新津美術館長） 参加者：36 人（定員 30 人）
取組の概要	<p>記念展では市が所蔵する操氏の画業初期作品をはじめ、戦後の日本画壇で大きく飛躍した頃の作品などを展示し、操氏の時代をとらえる眼差しと、その功績を紹介した。</p> <p>大山治郎コレクション美術館（ビストロ&cafe 六朝館 併設）と連携し、記念展と同時期に美術館でも所蔵の横山操をはじめ、ゆかりの作家展を開催してもらい、相互鑑賞の促進を図った。</p> <p>コロナ禍で外出があまりできない状況下にあった市民へのサービスとして、記念展期間の燕市民の史料館入館料を無料とした。</p>
自己評価	<p>当初は 6 月開催予定のところ、新型コロナウイルス感染症の影響で延期となったが、関係機関と調整して 12 月に開催することができた。また、企画内容についても、講演会の参加人数縮小はあったものの、おおむね当初計画どおり実行した。</p> <p>コロナ禍でありながら、例年の産業史料館企画展と比較しても多くの来場者を得ることができ、市民の関心の高さが窺えた。</p>

<p>評価委員の評価</p>	<p>横山操展を出身地で開催できたことは良かった。長い間愛された人が燕市の出身者であることを知ってもらえた。</p> <p>若年層にも積極的にPRして郷土愛の醸成に役立ててほしい。</p> <p>好きなこと、得意なことを一生懸命やり続ければ、周囲が認める良い成果につながる。自信につながり、不登校への対策にもなるのではないか。そういう面も子どもたちに伝えてほしい。</p> <p>1ヶ月間という短い期間でも1,200人以上が来場されたのは、内容が良いからだと思う。</p> <p>地元の文化、美術作家を周知する良い機会であり、若年層に伝える役割もあった。今後もこうした機会を設け、郷土愛を育む事業を実施してほしい。</p>
<p>今後の方向性</p>	<p>燕市は、操氏の画業初期作品を多く所蔵しており、貴重な資料であることから、所蔵作品を適切に保存していくとともに、今後も時機をみて展覧会などにより作品を市民へ公開し、芸術文化の振興に取り組む。</p>

【所管：社会教育課】

第2次燕市学校教育基本計画の評価

～令和2年度の指標について～

- 「R2全国平均」の欄については、令和2年4月16日に実施が予定されていた「令和2年度全国学力・学習状況調査」が新型コロナウイルス感染症に係る学校教育への影響等の考慮により実施されなかったため、斜線にしてあります。燕市のR2の実績値については、他の調査の結果で代替できるものは参考数値として青文字で記載し、代替できる調査等がないものは斜線にしてあります。

目標1：「ふるさと燕」への愛着や誇りとグローバル社会を生き抜く力を育みます。

<目標の達成状況>

指標項目	出所	対象	基準値	実績値	実績値	R2 全国平均	中間目標値	目標値
			H27	R1	R2		R1	R4
「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答した小学6年生と中学3年生の割合	全国学力・学習状況調査	小学6年生	80.4%	80.2%			<83%>	<85%>
		中学3年生	33.7%	44.9%			<35%>	<40%>
「将来の夢や目標を持っている」と回答した小学6年生と中学3年生の割合	全国学力・学習状況調査	小学6年生	86.2%	80.1%			<90%>	<90%>
		中学3年生	71.5%	65.6%			<75%>	<80%>
全国学力・学習状況調査で全国平均以上の教科数 ※R1より、国語、算数、数学の全4教科 H30までは全8教科 R2代替指標：偏差値50以上の教科数	全国学力・学習状況調査	小学6年生	(4教科)	1教科	2教科 (国・算)		<2教科>	<2教科>
		中学3年生	(2教科)	0教科	0教科 (国・数)		<2教科>	<2教科>
標準学力検査偏差値平均50以上の中学1年生から3年生の教科の数 (国語・数学・英語) ※中学1年生の英語を除く全8教科	全国標準学力調査(NRT)	中学1年生	2教科	2教科	1教科		<2教科>	<2教科>
		中学2年生	3教科	2教科	1教科		<3教科>	<3教科>
		中学3年生	1教科	1教科	0教科		<3教科>	<3教科>
「朝食を毎日食べている」と回答した小学6年生と中学3年生の割合	全国学力・学習状況調査	小学6年生	97.7%	96.8%	96.4% (9校)		<100%>	<100%>
		中学3年生	93.0%	95.3%	91% (3校)		<100%>	<100%>

目標2：「生きる力」を育み、個を伸ばす教育を実現する学校づくりを行います。

<目標の達成状況>

指標項目	出所	対象	基準値	実績値	実績値	R2 全国平均	中間目標値	目標値
			H27	R1	R2		R1	R4
「教職員研修講座に参加してよかった」と回答した教職員の割合	研修講座アンケート	教職員	72.3% ※H26	93.5%	94.8%		<75%>	<80%>
「学校に行くのは楽しいと思う」と回答した小学6年生と中学3年生の割合	全国学力・学習状況調査	小学6年生	89.0%	86.2%	94.6% (8校)		<90%>	<92%>
		中学3年生	84.4%	83.1%	96.9% (3校)		<85%>	<87%>
「自分には、よいところがあると思う」と回答した小学6年生と中学3年生の割合 R2代替指標 「あなたは運動や勉強、係活動や委員会活動、趣味などでクラスの人からみとめられることがありますか」に肯定的な回答(4とてもそう思う、3少しそう思う)をした小学6年生と中学3年生の割合	全国学力・学習状況調査	小学6年生	75.4%	86.2%	85.1% (14校)		<78%>	<80%>
		中学3年生	70.0%	76.6%	73.7% (3校)		<73%>	<75%>
「特別支援教育について理解し、授業の中で、生徒の特性に応じた指導上の工夫(板書や説明の仕方、教材の工夫など)を行った」と回答した学校の割合	全国学力・学習状況調査(学校)	小学校	100.0%	100.0%	100.0%		<100%>	<100%>
		中学校	80.0%	100.0%	100.0%		<100%>	<100%>

目標3：学校・家庭・地域の連携を強化し、子どもが地域社会で健やかに育つ環境づくりに努めます。

<目標の達成状況>

○全国平均より高い ▼全国平均より低い

指標項目	出所	対象	基準値	実績値	実績値	R2 全国平均	中間目標値	目標値
			H27	R1	R2		R1	R4
近隣の小中学校との連携についてそれぞれ「行った」と回答した学校の割合 ①教育目標の共有 ②授業研究などの合同研修 ③教育課程に関する共通の取組 ※H29から3項目に変更	全国学力・学習状況調査 (学校) ※R2代替指標 各校へ問い合わせた結果	小学校	66.7%	①－ ②64.3% ③92.9%	①60.0% ②46.7% ③93.3%		<80%>	<80%>
		中学校	60.0%	①－ ②80.0% ③60.0%	①60% ②20% ③60%		<80%>	<80%>
学校支援ボランティア活動支援のべ回数	地域に根ざす学校応援団事業報告書	ボランティア	4,237回	4,492回	3,816回		<4,300回>	<4,400回>

目標4：安全・安心な環境で学べるよう、教育環境の整備、充実を図ります。

<目標の達成状況>

指標項目	出所	対象	基準値	実績値	実績値	R2 全国平均	中間目標値	目標値
			H27	R1	R2		R1	R4
「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある」と回答した小学6年生と中学3年生の割合	全国学力・学習状況調査	小学6年生	94.5%	96.5%			<96%>	<98%>
		中学3年生	95.3%	93.4%			<96%>	<98%>
「人が困っているときは、進んで助けている」と回答した小学6年生と中学3年生の割合 ※H28からこの項目に変更 R2代替指標 ・小学校：「あなたが何かしようとするとき、クラスの人たちは協力してくれたり、応援してくれたりすると思いますか」に肯定的な回答 ・中学校：「何かしようとするとき、協力してくれる友人がいる。」の回答	全国学力・学習状況調査 ※R2代替指標 QU学級満足度調査	小学6年生	95.5%	91.4%	93.2% (14校)		<96%>	<98%>
		中学3年生	94.8%	88.1%	88.6% (3校)		<96%>	<98%>
「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」と回答した小学6年生と中学3年生の割合	全国学力・学習状況調査	小学6年生	96.8%	98.7%			<100%>	<100%>
		中学3年生	95.6%	96.5%			<100%>	<100%>
「人の役に立つ人間になりたいと思う」と回答した小学6年生と中学3年生の割合	全国学力・学習状況調査	小学6年生	95.7%	96.1%			<96%>	<98%>
		中学3年生	94.0%	97.4%			<96%>	<98%>

■評価委員の評価

- ・子供たちの自己肯定感を高め、自信を持たせる取組を行ってほしい。
- ・近隣の小中学校区との連携については、連携校が増えるような工夫をしていただきたい。
- ・目標に対して指標が妥当かどうかの問題はあるが、策定時からこの指標で継続して評価してきたものである。第3次学校教育基本計画の策定時には検討していただきたい。
- ・令和2年度は全国学力・学習状況調査が実施されなかったため、評価できないものが多かった。令和3年度は、しっかりとデータを取り、分析・検討してほしい。

■今後の方向性

- 学力向上
 - ・各校と連携し、児童生徒の確かな学力の定着・向上を目指して取り組んでいく。
- 自己肯定感の向上
 - ・児童生徒の自己肯定感が高まるように、教職員から児童生徒へののかかわり方を大切にしていこう、学校への指導を継続していく。
- 近隣小中学校との連携
 - ・近隣小中学校との連携については、校長会等で働きかけていく。
- 指標について
 - ・第3次学校教育基本計画検討委員会において、目標に適した指標なのかを検討していく。

IV. 教育委員会の会議及び教育委員の主な活動状況

1 教育委員会の会議

●4月定例教育委員会【令和2年4月27日（月）】

諸報告：(1) 行事報告及び行事予定

(2) 教育長報告

(3) 寄附報告

報告：報告第4号 共催・後援の教育長専決報告について

議案：議案第28号 燕市薬剤師の委嘱について

議案第29号 燕市食物アレルギー対応委員会委員の委嘱について

議案第30号 燕市立小学校及び中学校における非常かけつけ人の委嘱について

議案第31号 燕市立小中学校における事務長及び事務主任の任命について

議案第32号 燕市学校支援地域本部実行委員会委員の委嘱について

議案第33号 燕市 Good Job つばめ推進事業実行委員の委嘱について

議案第34号 燕市立学校の在り方検討委員会委員の委嘱について

その他：(1)「羽ばたけつばくろ応援事業 審査員」の選任について

●5月定例教育委員会【令和2年5月25日（月）】

諸報告：(1) 新型コロナウイルス感染症に対する教育委員会の対応について

(2) 行事報告及び行事予定

(3) 教育長報告

(4) 寄附報告

報告：報告第5号 共催・後援の教育長専決報告について

議案：議案第35号 燕市学校給食運営委員会委員の委嘱について

議案第36号 燕市立小中学校における衛生管理者及び衛生推進者の選任について

議案第37号 燕市就学援助実施要綱の一部改正について

議案第38号 燕市公民館運営審議会委員の委嘱について

議案第39号 燕市スポーツ推進委員の委嘱について

議案第40号 燕市スポーツ推進審議会委員の委嘱について

議案第41号 燕市文化会館運営審議会委員の委嘱について

議案第42号 燕市社会教育委員の委嘱について

議案第43号 燕市図書館協議会委員の委嘱について

議案第44号 燕市文化財調査審議会委員の委嘱について

その他：(1) 市教育委員会パワハラ防止対策について

●6月定例教育委員会【令和2年6月29日（月）】

- 諸報告：(1) 教育長職務代理者の指名について
(2) 新型コロナウイルス感染症に対する教育委員会の対応について
(3) 行事報告及び行事予定
(4) 教育長報告
(5) 寄附報告

報 告：報告第 6 号 共催・後援の教育長専決報告について

議 案：議案第45号 燕市立学校管理運営に関する規則の一部改正について

議案第46号 燕市立学校の在り方検討委員会委員の委嘱について

議案第47号 燕市子ども・子育て会議委員の委嘱について

議案第48号 令和2年度 学期の期間の変更について

その他：(1) 令和2年第2回燕市議会定例会（教育委員会関係抜粋）

1) 令和元年度燕市一般会計補正予算（第12号）

2) 令和2年度燕市一般会計補正予算（第1号）

3) 燕市奨学金貸与条例の一部改正について

4) 令和2年度燕市一般会計補正予算（第4号）

5) 令和2年度燕市一般会計補正予算（第5号）

6) 令和2年度燕市一般会計補正予算（第6号）

7) 一般質問の概要について

●7月定例教育委員会【令和2年7月28日（火）】

- 諸報告：(1) 新型コロナウイルス感染症に対する教育委員会の対応について
(2) 行事報告及び行事予定
(3) 教育長報告
(4) 寄附報告

報 告：報告第 7 号 共催・後援の教育長専決報告について

議 案：議案第49号 燕市青少年育成センター運営協議会委員の委嘱について

議案第50号 令和3年度中学校教科用図書採択について

その他：(1) 令和2年第2回燕市議会臨時会（教育委員会関係抜粋）

1) 和解及び解決金の額を定めることについて

2) 令和2年度燕市一般会計補正予算（第7号）

●8月定例教育委員会【令和2年8月21日（金）】

- 諸報告：(1) 行事報告及び行事予定
(2) 教育長報告
(3) 寄附報告

報 告：報告第 8 号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題：協議第 1 号 新規共催・後援申請について

議 案：議案第51号 燕市子ども・子育て会議委員の委嘱について

- 9月臨時教育委員会【令和2年9月1日（火）】
8月定例教育委員会での「教育長報告」における不適切な表現について
- 9月臨時教育委員会【令和2年9月4日（金）】
議案：議案第52号 教育長の辞職の同意について
動議：令和2年8月定例教育委員会々議録の修正について
- 9月臨時教育委員会【令和2年9月25日（金）】
8月定例教育委員会会議録の加筆箇所等の表示について
- 9月定例教育委員会【令和2年9月29日（火）】
諸報告：（1）行事報告及び行事予定
報告：報告第9号 共催・後援の教育長専決報告について
議案：議案第52号 燕市教育委員会会議規則の一部改正について
その他：（1）吉田中学校の給食に混入した針金状異物について
（2）令和2年第3回燕市議会定例会（教育委員会関係抜粋）
1）財産の取得について（学習用コンピュータ機器等購入）
2）令和2年度燕市一般会計補正予算（第8号）
3）燕市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
4）燕市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について
5）令和2年度燕市一般会計補正予算（第9号）
6）吉田トレーニングセンター大規模改修計画（案）について
7）第2次燕市幼稚園・保育園適正配置実施計画の見直しに向けたサウンディング調査結果の概要について
8）「ぎんなん保育園」の幼保連携型認定こども園移行について
9）一般質問の概要
動議：令和2年8月定例教育委員会々議録の修正について
- 10月定例教育委員会【令和2年10月30日（金）】
諸報告：（1）行事報告及び行事予定
（2）教育長報告
（3）寄附報告
報告：報告第10号 共催・後援の教育長専決報告について

●11月定例教育委員会【令和2年11月30日（月）】

諸報告：（1）行事報告及び行事予定

（2）教育長報告

協議題：協議第 4号 新規共催・後援申請について

●12月定例教育委員会【令和2年12月23日（水）】

諸報告：（1）行事報告及び行事予定

（2）教育長報告

（3）寄附報告

報告：報告第 11号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題：協議第 5号 新規共催・後援申請について

議案：議案第 53号 燕市立学校管理運営に関する規則の一部改正について

議案第 54号 燕市就学援助実施要綱の一部改正について

議案第 55号 燕市教育委員会が行う共催又は後援に関する承認基準要綱の一部改正について

議案第 56号 燕市保育園条例施行規則の一部改正について

議案第 57号 燕市立認定こども園条例施行規則の一部改正について

議案第 58号 燕市立図書館条例施行規則の一部改正について

議案第 59号 燕市いじめ防止対策等専門委員会委員の委嘱について

その他：（1）令和2年第4回燕市議会定例会（教育委員会関係抜粋）

1) 一般質問の概要

2) 吉田トレーニングセンター大規模改修計画（案）について

（2）日本基督教団燕境界の国登録有形文化財の登録について

●1月定例教育委員会【書面開催】

諸報告：（1）行事報告及び行事予定

（2）教育長報告

（3）寄附報告

その他：（1）吉田図書館の改修工事について

●2月定例教育委員会【令和3年2月22日（月）】

諸報告：（1）行事報告及び行事予定

（2）教育長報告

（3）寄附報告

議案：議案第 1号 燕市立小・中学校管理職の人事異動について

その他：（1）令和3年度組織改正（案）について

（2）その他

●3月定例教育委員会【令和3年3月26日（金）】

諸報告：（1）行事報告及び行事予定

（2）教育長報告

（3）寄附報告

報告：報告第 1号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題：協議第 1号 新規共催・後援申請について

議案：議案第 2号 燕市教育委員会組織規則の一部改正について

議案第 3号 燕市教育委員会処務規程の一部改正について

議案第 4号 燕市教育委員会職員の職名に関する規則の一部改正について

議案第 5号 燕市学校運営協議会規則の制定について

議案第 6号 燕市教育委員会附属機関の委員の報酬に関する要綱の一部改正について

議案第 7号 燕市教育委員会に係る情報通信技術を活用した行政の推進等に関する条例施行規則の制定について

議案第 8号 第3次燕市学校教育基本計画検討委員会要綱の制定について

議案第 9号 燕市不登校児童生徒適応指導教室設置要綱の制定について

議案第 10号 燕市保育園条例施行規則の一部改正について

議案第 11号 燕市立認定こども園条例施行規則の一部改正について

議案第 12号 燕市立保育園及び認定こども園延長保育事業実施要綱の一部改正について

議案第 13号 燕市教育委員会公印規程の一部改正について

議案第 14号 燕市吉田地域コミュニティセンター条例施行規則の廃止について

議案第 15号 燕市地域子育て支援事業実施要綱の一部改正について

議案第 16号 燕市子育てのための施設等利用給付事業に関する要綱の一部改正について

議案第 17号 燕市青少年育成センター条例施行規則の一部改正について

議案第 18号 燕市学校支援地域本部地域コーディネーターの委嘱について

議案第 19号 学校医等の委嘱について

議案第 20号 第2次燕市幼稚園・保育園適正配置実施計画【改定版】(案)について

議案第 21号 燕市保育士等人材バンク設置運営要綱の一部改正について

議案第 22号 燕市立小中学校における事務主任の任命について

その他：（1）令和3年第1回燕市議会定例会（教育委員会関係抜粋）

1) 令和3年度燕市一般会計補正予算（第1号）について

2) 一般質問の概要

（2）地藏堂保育園・笈ヶ島保育園閉園式について

2 総合教育会議

- 令和2年度 燕市総合教育会議【令和3年2月22日（月）】
議題：(1) ICT を活用した教育の充実について

3 教育委員の視察

開催日	視察先	視察内容
3月26日（金）	・分水パステル保育園	・開園前の施設の様子を視察

4 教育関係会議

- ・新潟県都市教育長協議会春季定期総会（糸魚川市(書面開催)）
- ・関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会（群馬県太田市(書面開催)）
- ・新潟県市町村教育委員会連合会定期総会（燕市(書面開催)）
- ・新潟県都市教育長協議会秋季定期総会（妙高市(書面開催)）